

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	文学特論
科目基礎情報						
科目番号	0023		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『現代文学名作選』（明治書院）『大学生のための日本語表現実践ノート』（風間書房）					
担当教員	芳賀 多美子					
到達目標						
1. 日本語による表現についての確な理解力・表現力を身につけ、自己の学習・研究活動の経過を、専門用語を含む適切な語句を正しく用いて報告できる。(D1-3)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	□近現代の文学作品を読解し、その文章表現に沿って、舞台設定および登場人物の心情や行動の変化を把握し、描写の裏に隠された比喩的・象徴的意味までも理解した上で鑑賞することができる。		□近現代の文学作品を読解し、その文章表現に沿って、舞台設定および登場人物の心情や行動の変化を把握することができる。		□近現代の文学作品について、その文章表現に沿って、舞台設定および登場人物の心情や行動の変化を把握することができない。	
評価項目2	□種類と目的に応じた言語表現について理解し、それぞれに必要な語彙・語法・表現法を高い水準で身につけ、自身の言語活動に効果的に活用することができる		□種類と目的に応じた言語表現について理解し、それぞれに必要な語彙・語法・表現法を身につけ、自身の言語活動に活用することができる。		□種類と目的に応じた言語表現について理解できず、それに必要な語彙・語法・表現法を自身の言語活動に活用することができない。	
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
実践指針 (D1) 実践指針のレベル (D1-3) 【本校学習・教育目標 (本科のみ) 】 4 【プログラム学習・教育目標 】 D						
教育方法等						
概要	国際社会で活躍する技術者に求められる日本文化への深い造詣、日本人のものの見方・考え方に対する理解を深める。日本語表現に関する知識・技術を習得しつつ、日本文学作品の読解を通して思考力・発想力を鍛え、論理的思考の過程や感受性・情緒を豊かに表現する言語感覚を磨いていく。					
授業の進め方・方法	2種類の教材を適宜使い分けることにより、日本語表現に関する知識・技術を習得しつつ、日本文学作品の読解を通して思考力・発想力を鍛え、論理的思考の過程や感受性・情緒を豊かに表現する言語感覚を磨くことを中心とした授業を展開する。言語活動（文章作成・スピーチ・批評）の実践は多用する。					
注意点	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科担当教員へ連絡してください。 授業目標 (D1-3) が標準基準（6割）以上で、かつ科目全体で60点以上の場合に合格とする。評価項目は評価（ルーブリック）、評価基準については成績評価基準表（別紙）による。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 表現 第2課話してみよう 自己紹介文作成		授業の全体像を理解し、自己紹介文を作成できる	
		2週	表現 第2課話してみよう 自己紹介（スピーチ）		自分自身についてははっきりと自分の言葉で話すことができる	
		3週	文学 夏目漱石「坊ちゃん」		名作の一部分を味わい、鑑賞することができる	
		4週	表現 第6課就職活動の準備 エントリーシート作成		エントリーシートの特性を理解し、自分なりのシートを作成することができる	
		5週	文学 森鴎外「最後の一句」		名作の一部分を味わい、鑑賞することができる	
		6週	表現 第1課ことばと表現 同音異義語・同訓異義語		同音・同訓異義語についての理解を深め、適切に書くことができる	
		7週	文学 芥川龍之介「鼻」		名作の一部分を味わい、鑑賞することができる	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	表現 第2課話してみよう 友人紹介文作成 Who am I ?		他人を客観的な視点から描写し、特徴を伝えることができる	
		10週	文学 志賀直哉「清兵衛と瓢箪」		名作の一部分を味わい、鑑賞することができる	
		11週	表現 第1課ことばと表現 四字熟語・ことわざなど		四字熟語・ことわざなどについての理解を深め、適切に使うことができる	
		12週	文学 宮沢賢治「よだかの星」		名作の一部分を味わい、鑑賞することができる	
		13週	表現 第3課敬語・敬意表現 敬語の種類・敬語の用法その1		敬語表現の基礎の種類・用法について理解することができる	
		14週	表現 第2課話してみよう 自分を振り返る（スピーチ）		自分自身の行動について客観的視点から振り返り、伝えることができる	
		15週	文学 山本有三「路傍の石」		名作の一部分を味わい、鑑賞することができる	
		16週	前期のまとめ		文学作品を味わい、自分だけでなく周囲に目を向ける視野を養うことができる	
後期	3rdQ	1週	表現 第2課話してみよう 研修を振り返る（スピーチ）		自分自身の行動について客観的視点から振り返り、伝えることができる	
		2週	文学 太宰治「黄金風景」		名作の一部分を味わい、鑑賞することができる	

		3週	表現 第2課話してみよう 学校行事を考える（スピーチ）	自分自身の行動について客観的視点から振り返り、伝えることができる
		4週	文学 中島敦「名人伝」	名作の一部分を味わい、鑑賞することができる
		5週	表現 第1課言葉と表現 文の構造・助詞	文の構造について理解を深めることができる
		6週	文学 幸田文「おきみやげ」	名作の一部分を味わい、鑑賞することができる
		7週	表現 第3課敬語・敬意表現 敬語の用法その2・敬意表現	敬語表現の応用した用法について理解することができる
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	文学 宮本輝「途中下車」	名作の一部分を味わい、鑑賞することができる
		10週	表現 第4課書いてみよう 手紙文・案内文・ビジネス文書	基本的な手紙文に関連する事項について理解することができる
		11週	表現 第2課話してみよう 漢字で語る新年の決意 （スピーチ）	漢字の成り立ちや本来の意味を利用して、自分の決意を述べることができる
		12週	文学 川上弘美「離さない」	名作の一部分を味わい、鑑賞することができる
		13週	文学 小川洋子「電話アーティストの甥/電話アーティストの恋人」	名作の一部分を味わい、鑑賞することができる
		14週	文学 角田光代「さがしもの」	名作の一部分を味わい、鑑賞することができる
		15週	後期まとめ	文学作品の読解を通して、自分の生き方と比較して意見を持ち、表現していくことができる
		16週	答案返却・解説・総括 授業全体の振り返り	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	課題	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	10	0	0	10	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	0	60
分野横断的能力	20	10	0	0	10	0	40